

# 令和4年度 愛知県立一宮特別支援学校「学校経営方針」

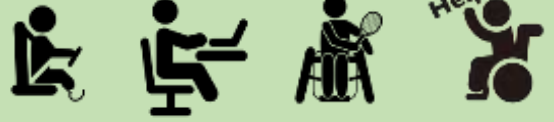
## 本校の教育目標

幼・小・中・高の各部の独自性と一貫性を柱とし、幼児児童生徒一人一人の特性と能力に応じた教育をすすめ、家庭や社会の成員として、力強く生き抜く人間を育成する。

校訓 **たくましく ゆたかに すこやかに**

## 本校がめざす「子ども像」

部	各部でめざす「子ども像」
高等部	自分らしく生きる子
中学部	自分の力を伸ばす子
小学部	いきいきと学ぶ子
幼稚部	なかよく遊ぶ子



## 本年度のスローガン「みんなの笑顔のために」

### 重点目標① 指導・支援の充実

- 正しい実態把握と適切な課題設定
- 学習環境の整備（障害特性・UD）
- 有機的なTT（人数以上の教育的効果）
- 新学習指導要領の実施と定着（R4～※高）
- キャリア教育の推進
- 特別支援教育のセンター的機能の充実
- 交流及び共同学習の推進（直接・間接・遠隔）
- 学校内資源の活用（教職員の特技）
- 学校外資源の活用（ICTの活用）
- 一人1台タブレットの積極的利用
- 研修機会の充実（多様な研修の方法）
- . . .

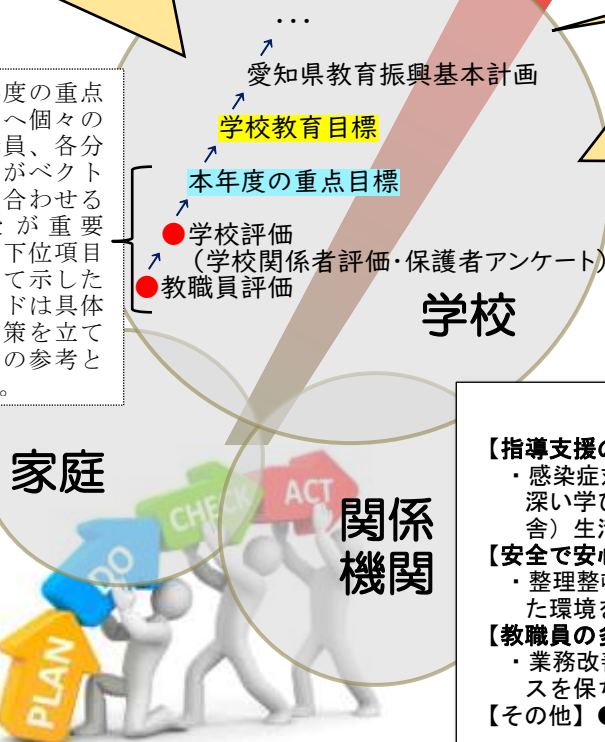
### 重点目標② 安全で安心な学校づくり

- 開かれた学校の推進（授業参観の実施、関係機関・家庭との連携、情報発信の充実）
- 教職員の人権意識を高める研修の実施
- 環境整備（感染症対策、防犯、防災、美化）
- ヒヤリ・ハット事例の共有と学校危機管理マニュアル等の随時見直し
- 実際の災害や緊急事態を想定した訓練の実施
- . . .

### 重点目標③ 教職員の多忙感解消

- 文書作成業務の効率化（様式・名簿等の一元管理）
- 整理整頓（フォルダ内、紙資料、県費購入物品等）
- 教材等の共有化
- 会議の精選（内容、人、方法、回数）
- 開錠・施錠時刻の徹底
- 長期休業の有効活用（業務シェアリング）
- 職種や分掌等を越えた横断的な取組による業務改善
- 校務補助員導入と課題整理
- . . .

今年度の重点目標へ個々の教職員、各分掌等がベクトルを合わせることで、下位項目として示したワードは具体的方策を立てる際の参考とする。



## 本年度の課題

- 【指導支援の充実～楽しい（できた、分った）学校づくり～】
  - ・感染症対策を継続しつつも、ICT機器を活用した「主体的・対話的で深い学び、個別最適な学び」を推進し、楽しく充実した学校（寄宿舎）生活を送ることができるようにする。
- 【安全で安心な学校づくり】
  - ・整理整頓が行き届き、教職員の連携と高い人権意識・専門性を生かした環境を提供する。
- 【教職員の多忙感解消～教職員が元気で質の高い学校づくり～】
  - ・業務改善に向けた取組により在校時間を縮減し、ワークライフバランスを保ちながら働きがいのある職場づくりを目指す。
- 【その他】●重度・重複・多様化への対応

## R4年度 一宮特別支援学校の現状

※（ ）内は訪問人数、外数

在籍数	幼4	幼5	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	訪問	合計	
男子	2	2	9	8	9	4	2(1)	5(1)	6	8	6	7	10	10	2	90	
女子	2	5	5	6	3	3(1)	7	4(1)	2	3	3	10	5	5	2	65	
計	4	7	14	14	12	7(1)	9(1)	9(2)	8	11	9	17	15	15	4	155	
学級数	3		23						10			14			2	52	
教職員数	教頭・教諭110名（R3 108名） ※実習助手、寄宿舎指導員等除く																110

本校の存在意義 ※裏返せば本校の使命でもある。

保護者目線（なぜ本校を選ぶ？）：①特別支援教育の専門性、②安全・安心な環境（看護師常駐、医ケアの充実、. . .）、③進路指導の充実、④保護者同士の連携、⑤. . .

地域目線（何を期待している？）：①特別支援教育のセンター的機能、②. . .

学校の強み  
 ○多才で専門性の高い教職員集団 ○自然豊かな環境 ○幼～高まで最長14年間の継続  
 ○広い敷地 ○近隣に消防署や小・中・高等学校 ○寄宿舎設置 ○自校給食 ○. . .